

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-51714** 測定時間 **15分** 測定日 **2012/5/17**
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 **350ccポリ容器**
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 **494.0g**

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	作付け制限	埋立基準
土(浦安市堀江5/弁財公園)	2cm	基準なし	400	5,000	8,000

↑特に申請がない場合は3cmで記載いたします。

セシウム137		セシウム134	
参考値	1364.0 Bq/kg	検出限界	9.6 Bq/kg
検出限界	8.9 Bq/kg	定量下限	32.0 Bq/kg
定量下限	29.6 Bq/kg	不確かさ	43.2±Bq/kg
不確かさ	49.4±Bq/kg	セシウム137+134の合算値	
参考値	2261.9 Bq/kg		

不確かさ **65.6±Bq/kg**

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合	Bq/m ³ 換算値	63,333Bq/m³
-----------------------	-----------------------	-------------------------------

ベラルーシ避難基準	判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ³ ～	××××
移住権利ゾーン55.5万～148万	×××
移住推奨ゾーン18.5万～55.5万Bq/m ³	××
定期的放射能管理ゾーン3.7万～18.5万Bq/m ³	×

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量	17.05μ Sv
年間(365日)累計	6.22mSv/y

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量	52.24μ Sv
年間(365日)累計	19.07mSv/y

□年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。
 kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)

◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日をかけたものです。
 (検出下限値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)

●なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。
 従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛争または経済的負担に関して、
 当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた
 検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。

◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。

◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の
 提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。

△厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規
 のものとは区別していただく必要があります。

▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器
 での検査が必要となります。

測定結果

試料 No. **NNC-12-53109** 測定時間 15分 測定日 2012/5/31
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 350cc ポリ容器
 専用解析ソフトウェアによる 質量 509.0g

検体名	飲料水	牛乳	乳児用食品	一般食品	土
土(浦安市弁財天公園)	10	50	50	100	基準なし

砕石 使用	肥料	飼料	飼料	木炭	薪	茸栽培 原木	灰 汚泥
	産業土	(豚)	(牛・馬)				
100	400	80	100	280	40	50	8,000

セシウム137		セシウム134	
(参考値)	1094.4 Bq/kg	718.8 Bq/kg	
不確かさ	44.7 Bq/kg	不確かさ	39.2 Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
(参考値)	1813.2 Bq/kg		
	不確かさ	59.5±Bq/kg	

- 放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛議または経済的負担に関して、当施設の関与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
- ◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。
- ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。
- △厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規のものとは区別していただく必要があります。
- ▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器での検査が必要となります。



ご利用ありがとうございました。

測定結果

試料 No. **NNC-12-53110** 測定時間 15分 測定日 2012/5/31
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 350cc ポリ容器
 専用解析ソフトウェアによる 質量 536.0g

検体名	飲料水	牛乳	乳児用食品	一般食品	土
土(浦安市弁財天公園/砂場)	10	50	50	100	基準なし

砕石 使用	肥料	飼料	飼料	木炭	薪	茸栽培 原木	灰 汚泥
	産業土	(豚)	(牛・馬)				
100	400	80	100	280	40	50	8,000

セシウム137		セシウム134	
(参考値)	108.4 Bq/kg	81.5 Bq/kg	
不確かさ	18.7 Bq/kg	不確かさ	18.5 Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
(参考値)	189.9 Bq/kg		
	不確かさ	26.3±Bq/kg	

- 放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛議または経済的負担に関して、当施設の関与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
- ◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。
- ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。
- △厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規のものとは区別していただく必要があります。
- ▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器での検査が必要となります。



ご利用ありがとうございました。

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-60701** 測定時間 15分 測定日 2012/6/7
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 350cc ポリ容器
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 441.0g

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	旧作付け制限(5,000Bq/kg)
土(浦安市/堀江/一区公園)	2cm	基準なし	400	埋立て基準(8,000Bq/kg)

セシウム137		セシウム134	
参考値	1037.3 Bq/kg	参考値	703.7 Bq/kg
検出限界	10.0 Bq/kg	検出限界	10.7 Bq/kg
不確かさ	43.7±Bq/kg	不確かさ	38.8±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	1741.0 Bq/kg		
	不確かさ	58.4±Bq/kg	

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合 Bq/m²換算値 43,873Bq/m²

ベラルーシ避難基準	判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ² ~	XXXX
移住権利ゾーン55.5万~148万	XXX
移住推奨ゾーン18.5万~55.5万Bq/m ²	XX
定期的放射能管理ゾーン3.7万~18.5万Bq/m ²	X

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 11.84μ Sv
 年間(365日)累計 4.32mSv/y

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 35.93μ Sv
 年間(365日)累計 13.11mSv/y

- 年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)
- ◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日をかけたものです。(検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)
- なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛議または経済的負担に関して、当施設の関与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
- ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。
- ◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。
- △厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規のものとは区別していただく必要があります。
- ▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器での検査が必要となります。

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-51713** 測定時間 15分 測定日 2012/5/17
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 350ccポリ容器
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 490.0g

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	作付け制限	埋立基準
土(浦安市堀江5/一区公園砂場)	2cm	基準なし	400	5,000	8,000

↑特に申請がない場合は3cmで記載いたします。

セシウム137		セシウム134	
参考値	399.7 Bq/kg	参考値	246.4 Bq/kg
検出限界	9.0 Bq/kg	検出限界	9.6 Bq/kg
定量下限	30.0 Bq/kg	定量下限	32.0 Bq/kg
不確かさ	28.8±Bq/kg	不確かさ	25.4±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	646.1 Bq/kg		
	不確かさ	38.4±Bq/kg	

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合

Bq/m ² 換算値	18,091Bq/m ²
-----------------------	-------------------------

ベラルーシ避難基準	判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ² ～	××××
移住権利ゾーン55.5万～148万	×××
移住推奨ゾーン18.5万～55.5万Bq/m ²	××
定期的放射能管理ゾーン3.7万～18.5万Bq/m ²	×
	規定値以下

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量

年間(365日)累計	4.84μ Sv
	1.77mSv/y

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量

年間(365日)累計	15.15μ Sv
	5.53mSv/y

□年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。
 kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)

◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日かけたものです。
 (検出下限値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)

●なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。
 従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛争または経済的負担に関して、
 当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた
 検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。

◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。

◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の
 提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。

△厚労省の定めにより、当館で使用している機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規
 のものとは区別していただく必要があります。

▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器
 での検査が必要となります。

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-60702** 測定時間 15分 測定日 2012/6/7
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 350cc ポリ容器
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 580.0g

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	旧作付け制限(5,000Bq/kg)
土(浦安市/堀江/ロケット公園)	2cm	基準なし	400	埋立て基準(8,000Bq/kg)

富士見ちびっ子広場 ↑特に申請がない場合、3cmで計算します。

セシウム137		セシウム134	
参考値	872.8 Bq/kg	571.1 Bq/kg	
検出限界	7.6 Bq/kg	検出限界	8.1 Bq/kg
不確かさ	40.4±Bq/kg	不確かさ	35.5±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	1443.9 Bq/kg		
	不確かさ	53.8±Bq/kg	

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合 Bq/m³換算値 47,855Bq/m³

ベラルーシ避難基準	判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ² ～	XXXX
移住権利ゾーン55.5万～148万	XXX
移住推奨ゾーン18.5万～55.5万Bq/m ²	XX
定期的放射能管理ゾーン3.7万～18.5万Bq/m ²	X

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 **12.90μ Sv**
 年間(365日)累計 4.71mSv/y

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 **39.50μ Sv**
 年間(365日)累計 14.42mSv/y

- 年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)
- ◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日をかけたものです。(検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)
- なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛議または経済的負担に関して、当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
- ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。
- ◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。
- △厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規のものとは区別していただく必要があります。
- ▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器での検査が必要となります。

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-51715** 測定時間 15分 測定日 2012/5/17
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 350ccポリ容器
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 385.0g

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	作付け制限	埋立基準
土(浦安市堀江5/ロケット公園)	2cm	基準なし	400	5,000	8,000

↑特に申請がない場合は3cmで記載いたします。

セシウム137		セシウム134	
参考値	236.0 Bq/kg	参考値	148.0 Bq/kg
検出限界	11.4 Bq/kg	検出限界	12.3 Bq/kg
定量下限	38.0 Bq/kg	定量下限	41.0 Bq/kg
不確かさ	23.5±Bq/kg	不確かさ	21.5±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	384.0 Bq/kg		
	不確かさ	31.9±Bq/kg	

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合	Bq/m ² 換算値	7,680Bq/m ²
-----------------------	-----------------------	------------------------

ベラルーシ避難基準		判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ² ~	XXXX	規定値以下
移住権利ゾーン55.5万~148万	XXX	
移住推奨ゾーン18.5万~55.5万Bq/m ²	XX	
定期的放射能管理ゾーン3.7万~18.5万Bq/m ²	X	

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量	2.26μ Sv
年間(365日)累計	0.82mSv/y

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量	7.04μ Sv
年間(365日)累計	2.57mSv/y

□年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。
 kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)

◎年間累計被曝量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日をかけたものです。
 (検出下限値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)

●なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。
 従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛争または経済的負担に関して、
 当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負い兼ねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた
 検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
 ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。

◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の
 提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。

△厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規
 のものとは区別していただく必要があります。

▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器
 での検査が必要となります。

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-71801** 測定時間 **10分** 測定日 **2012/7/19**
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 **350cc ポリ容器**
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 **467.0g**

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	旧作付け制限(5,000Bq/kg)
土/富士見第3児童公園	2cm	基準なし	400	埋立て基準(8,000Bq/kg)

セシウム137		セシウム134	
参考値	643.8 Bq/kg	参考値	1032.1 Bq/kg
検出限界	11.7 Bq/kg	検出限界	12.6 Bq/kg
不確かさ	45.9±Bq/kg	不確かさ	53.3±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	1675.9 Bq/kg		
	不確かさ	70.3±Bq/kg	

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合 **Bq/m³換算値** **47,433Bq/m³**

ベラルーシ避難基準		判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ³ ~	XXXX	X
移住権利ゾーン55.5万~148万	XXX	
移住推奨ゾーン18.5万~55.5万Bq/m ³	XX	
定期的放射能管理ゾーン3.7万~18.5万Bq/m ³	X	

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 **12.00μ Sv**
 年間(365日)累計 **4.38mSv/y**

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 **37.30μ Sv**
 年間(365日)累計 **13.61mSv/y**

- 年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)
- ◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日をかけたものです。(検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)
- なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛争または経済的負担に関して、当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
- ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。
- ◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。
- △厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規のものとは区別していただく必要があります。
- ▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器での検査が必要となります。

測定結果(詳細分析)

試料No. **NNC-12-71802** 測定時間 **10分** 測定日 **2012/7/19**
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 **350cc ポリ容器**
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 **338.0g**

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	旧作付け制限(5,000Bq/kg)
土/富士見第3児童公園/プランコ	2cm	基準なし	400	埋立て基準(8,000Bq/kg)

セシウム137		セシウム134	
参考値	4246.6 Bq/kg	参考値	2409.0 Bq/kg
検出限界	16.2 Bq/kg	検出限界	17.4 Bq/kg
不確かさ	104.5±Bq/kg	不確かさ	84.2±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	6655.6 Bq/kg		
	不確かさ	134.2±Bq/kg	

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合 Bq/m²換算値 **132,329Bq/m²**

ベラルーシ避難基準	判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ² ~	XXXXX
移住権利ゾーン55.5万~148万	XXX
移住推奨ゾーン18.5万~55.5万Bq/m ²	XX
定期的放射能管理ゾーン3.7万~18.5万Bq/m ²	X

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 **34.13μ Sv**
 年間(365日)累計 **12.46mSv/y**

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 **109.60μ Sv**
 年間(365日)累計 **40.00mSv/y**

- 年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)
- ◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日かけたものです。(検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)
- なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛争または経済的負担に関して、当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
- ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。
- ◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。
- △厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規のものとは区別していただく必要があります。
- ▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器での検査が必要となります。

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-71803** 測定時間 **10分** 測定日 **2012/7/19**
 日暮里放射能測定所 **-にっこり館-**

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 **350cc ポリ容器**
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 **349.0g**

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	旧作付け制限(5,000Bq/kg)
土/緑道公園/全体	2cm	基準なし	400	埋立て基準(8,000Bq/kg)

セシウム137		セシウム134	
参考値	389.4 Bq/kg	参考値	212.5 Bq/kg
検出限界	15.7 Bq/kg	検出限界	16.8 Bq/kg
不確かさ	35.0±Bq/kg	不確かさ	29.7±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	601.9 Bq/kg		
	不確かさ	45.9±Bq/kg	

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合 **Bq/m²換算値** **12,004Bq/m²**

ベラルーシ避難基準	判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ² ~	XXXX
移住権利ゾーン55.5万~148万	XXX
移住推奨ゾーン18.5万~55.5万Bq/m ²	XX
定期的放射能管理ゾーン3.7万~18.5万Bq/m ²	X
	規定値以下

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 **3.10μ Sv**
 年間(365日)累計 **1.13mSv/y**

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 **10.31μ Sv**
 年間(365日)累計 **3.76mSv/y**

□年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。

kgあたりの換算値とは異なりますので、ごま加ください。(ECRR基準は14歳以上)

◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日かけたものです。

(検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)

●なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。

従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛争または経済的負担に関して、当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。

◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。

◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。

△厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規のものとは区別していただく必要があります。

▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器での検査が必要となります。

測定結果(詳細分析)

試料No. **NNC-12-71804** 測定時間 **10分** 測定日 **2012/7/19**
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 **350cc ポリ容器**
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 **220.0g**

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	旧作付け制限(5,000Bq/kg)
土/緑道公園/ベンチ	3cm	基準なし	400	埋立て基準(8,000Bq/kg)

セシウム137		セシウム134	
参考値	3567.3 Bq/kg	参考値	2108.7 Bq/kg
検出限界	24.9 Bq/kg	検出限界	26.7 Bq/kg
不確かさ	96.0±Bq/kg	不確かさ	79.0±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	5676.0 Bq/kg		
	不確かさ	124.3±Bq/kg	

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合 Bq/m²換算値 **110,181Bq/m²**

ベラルーシ避難基準	判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ² ~	XXXXX
移住権利ゾーン55.5万~148万	XXX
移住推奨ゾーン18.5万~55.5万Bq/m ²	XX
定期的放射能管理ゾーン3.7万~18.5万Bq/m ²	X

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 **19.00μ Sv**
 年間(365日)累計 **6.94mSv/y**

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 **60.27μ Sv**
 年間(365日)累計 **22.00mSv/y**

- 年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)
- ◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日かけたものです。(検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)
- なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛争または経済的負担に関して、当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
- ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。
- ◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。
- △厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規のものとは区別していただく必要があります。
- ▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器での検査が必要となります。

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-71805** 測定時間 **10分** 測定日 **2012/7/19**
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 **350cc ポリ容器**
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 **411.0g**

検体名	地表	土	肥料/農業土	旧作付け制限(5,000Bq/kg)
土/富士見4丁目ローラー公園	2cm	基準なし	400	埋立て基準(8,000Bq/kg)

セシウム137		セシウム134	
参考値	429.2 Bq/kg	参考値	243.7 Bq/kg
検出限界	13.3 Bq/kg	検出限界	14.3 Bq/kg
不確かさ	36.4±Bq/kg	不確かさ	31.2±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	672.9 Bq/kg		
	不確かさ	47.9±Bq/kg	

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合 **Bq/m³換算値** **17,843Bq/m³**

ベラルーシ避難基準	判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ³ ~	XXXX
移住権利ゾーン55.5万~148万	XXX
移住推奨ゾーン18.5万~55.5万Bq/m ³	XX
定期的放射能管理ゾーン3.7万~18.5万Bq/m ³	X
	規定値以下

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 **4.20μ Sv**
 年間(365日)累計 **1.53mSv/y**

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 **13.46μ Sv**
 年間(365日)累計 **4.91mSv/y**

- 年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)
- ◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日かけたものです。(検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)
- なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛争または経済的負担に関して、当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
- ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。
- ◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。
- △厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規のものとは区別していただく必要があります。
- ▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器での検査が必要となります。

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-71806** 測定時間 **10分** 測定日 **2012/7/19**
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 **350cc ポリ容器**
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 **426.0g**

検体名	地表	土	肥料/農業土	旧作付け制限(5,000Bq/kg)
土/富士見1丁目緑道公園	2cm	基準なし	400	埋立て基準(8,000Bq/kg)

セシウム137		セシウム134	
参考値	1267.7 Bq/kg	参考値	705.1 Bq/kg
検出限界	12.9 Bq/kg	検出限界	13.8 Bq/kg
不確かさ	58.6±Bq/kg	不確かさ	47.7±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	1972.8 Bq/kg		
		不確かさ	75.6±Bq/kg

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合 **Bq/m²換算値** **50,934Bq/m²**

ベラルーシ避難基準		判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ² ~	XXXX	X
移住権利ゾーン55.5万~148万	XXX	
移住推奨ゾーン18.5万~55.5万Bq/m ²	XX	
定期的放射能管理ゾーン3.7万~18.5万Bq/m ²	X	

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 **12.70μ Sv**
 年間(365日)累計 **4.64mSv/y**

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 **41.10μ Sv**
 年間(365日)累計 **15.00mSv/y**

- 年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。
 kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)
- ◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日をかけたものです。
 (検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)
- なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。
 従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛議または経済的負担に関して、
 当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた
 検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
- ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。
- ◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の
 提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。
- △厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規
 のものとは区別していただく必要があります。
- ▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器
 での検査が必要となります。

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-71807** 測定時間 **10分** 測定日 **2012/7/19**
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 **350cc ポリ容器**
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 **399.0g**

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	旧作付け制限(5,000Bq/kg)
土/富士見1丁目緑道横の公園	2cm	基準なし	400	埋立て基準(8,000Bq/kg)

セシウム137		セシウム134	
参考値	769.4 Bq/kg		452.3 Bq/kg
検出限界	13.7 Bq/kg	検出限界	14.7 Bq/kg
不確かさ	46.7±Bq/kg	不確かさ	39.6±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	1221.7 Bq/kg		
		不確かさ	61.3±Bq/kg

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合 **Bq/m²換算値** **30,466Bq/m²**

ベラルーシ避難基準		判定
移住義務ゾーン148万Bq/m ² ~	XXXX	規定値以下
移住権利ゾーン55.5万~148万	XXX	
移住推奨ゾーン18.5万~55.5万Bq/m ²	XX	
定期的放射能管理ゾーン3.7万~18.5万Bq/m ²	X	

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 **7.41μ Sv**
 年間(365日)累計 **2.70mSv/y**

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 **23.50μ Sv**
 年間(365日)累計 **8.58mSv/y**

- 年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。
 kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)
- ◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日かけたものです。
 (検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)
- なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。
 従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛議または経済的負担に関して、
 当施設の間与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた
 検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。
- ◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。
- ◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の
 提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。
- △厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規
 のものとは区別していただく必要があります。
- ▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器
 での検査が必要となります。